



野月 忠見 (市政・市民クラブ)

新年度予算の特別枠事業は

湖畔地区の観光再生など

議員 新年度の予算編成において、市長が特別枠として考えている事業は。

市長 元気な十和田市の実現に向け、十和田湖畔地区の観光再生、農産物ブランド化、2013北海道・東北B-1グランプリin十和田の開催、市民と協働による「元気な十和田づくり」への支援を考えています。また、アートによるまちづくり、自然再生エネルギーを活用したまちづくりなども考えています。

議員 (仮称) 市民交流プラザ、(仮称) 教育プラザをどのように生かしていくのか。

市長 (仮称) 市民交流プラザを隈研吾氏、(仮称) 教育プラザを安藤忠雄氏が設計することになり、西沢立衛氏が設計した現代美術館とあわせ、世

界的に著名な建築家三人の設計による建物がそろふこととなります。このような希少なケースを国内外に積極的にアピールし、観光や農産物販売等の経済活動に結びつけ、元気な十和田市をつくっていくことが必要と考えています。

議員 「花と温泉とアート」というキーワードを使い、焼山フラワーカーデン事業をどのように拡充していくのか。

市長 焼山地区は古くから温泉地として知られ、十和田湖、奥入瀬溪流の玄関口に当たります。また、観光資源として名高い現代美術館、新渡戸記念館のある市街地や八甲田地区から十和田湖方面へつながる中間に位置することから重要な観光拠点と認識していま

す。このことからフラワーカーデン事業やアートの結びつけ、一層の魅力向上を図ることが、市全体の活性化につながるものと考えています。具体的には焼山地区の総合的な活性化計画策定に向け協議を進めていきたいと考えています。



名湯百選の焼山地区

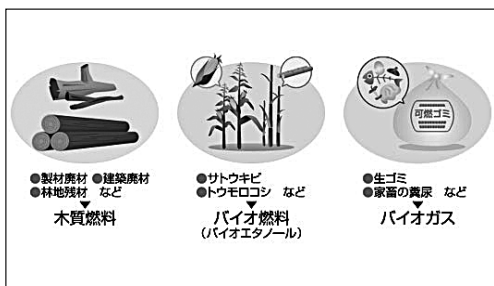
議員 東日本大震災後、再生可能エネルギーが注目されている。既存の処理施設を利用し、バイオマスエネルギー発電所を設置する考えは。

バイオマス発電所設置の考えは 国の動向を見きわめ、可能性を探っていく



小村 初彦 (公明党)

市長 現在は市庁舎や学校施設に太陽光発電装置を設置したり、下水処理場で発生するガスを汚泥処理用ボイラーの燃料として活用しています。しかし、バイオマス発電は多額の初期投資や発電コストの高さなどさまざまな問題があることから、再生可能エネルギーに対する国の政策がどのように具体化されていくのか見きわめながら可能性を探っていきたくと考えています。



さまざまなものがバイオマス燃料に

議員 十和田市駅停留所について、トイレの設置などを求める声が多いが、改善整備を促進する考え

企画財政部長 十和田市駅停留所は十和田観光電鉄株式会社が地権者から借用し設置していますが、駅前開発に伴い今後使用できなくなることから、現在整備方針を検討していると伺っています。また、停留所及びトイレの整備については事業者が行うことが原則ですが、市に対して支援の要請がされた場合は、その段階で検討していきたいと考えています。

議員 中央公園内に県営の多目的運動施設を誘致する考えは。

市長 現在、市として要望する県立施設については市内で検討しています。今後は各団体の意見を伺い、具体的な施設や候補地について検討していきたいと考えています。しかし、中央公園内への建設は、都市公園法による運動施設の規模の制限により難しいと考えています。

第4回定例会は、10人の議員から一般質問がありました。紙面の都合上、各議員が指定した質問事項とその答弁を要約して掲載しています。詳細については、十和田市ホームページ(3月掲載予定)をご覧ください。